| 科目名 | ナンバリング | 区分（必修・選択） | 単位数 | 履修年次 | 開講学期等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 比較行動学 | NLA11_11 | 選択 | 2 | 1 | 後期 |
| 担当教員 | 研究室 | 電子メール ID | | オフィスアワー | |
| 長谷川　真紀子 | 教員控室 | | | 随時メールで質問等受付 | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的・概要 | 比較行動学の講義は、ヒト以外の動物の行動や生態について多角的な視点で分析し科学的考察をすることを目的とする。対面授業を行う。フィードバックと意見交換などを行い、動物の行動や生態について科学的観点からの理解を深める。 |
| 授業形式・方法 | ☑対面授業　☑講義　□演習　□PBL　□反転授業　☑ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ<br>□遠隔授業(双方向型)　□実習　□実技　□ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ　□ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ　□実習・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ<br>□遠隔授業(自主学習)　□その他（　　） |
| 学習上の助言 | 講義資料を講義前日まで配信するので、講義内容理解の一助になるよう、必ず予習をしておくこと。また、講義後に提示する課題は指定された日時までに提出すること。 |
| 教科書 | 教科書は指定しない。毎回の講義には事前配信する資料を使用する。 |
| 参考書 | キャンベル生物学 原書 11 版 /監修・翻訳:池内昌彦 他 /丸善出版 |
| 外部教材 | 特になし |

| 学生が達成すべき行動目標 | | 関連卒業認定・学位授与方針 |
|---|---|---|
| ① | 動物に共通する行動の特徴について概説できる。 | HSU(1)(2)(4)(5) |
| ② | 動物の行動を理解する 4 つの視点を説明することができる。 | HSU(2)(4)(5) |
| ③ | 生得的行動と習得的行動について違いを理解し概説できる。 | HSU(2)(4)(5) |
| ④ | 利己的行動と利他的行動、適応度と包括適応度について違いを理解し概説できる。 | HSU(2)(4)(5) |
| ⑤ | 動物の社会的学習について概説できる。 | HSU(1)(2)(4)(5) |

授業計画

| 回 | 学習内容等 | 授業方法 | 学習課題・学習時間（時間） | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ガイダンス、生物とは何かについて学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 2 | 行動を理解するための視点について学習する。 | 講義<br>ディスカッション | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 3 | 生得的行動と習得的行動について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 4 | 生得的行動の例について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 5 | 経験による生得的行動の変化の例について学習 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 6 | 習得的行動の例について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 7 | 馴化と鋭敏化について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 8 | 行動とコミュニケーションについて学習する。 | 講義<br>ディスカッション | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 9 | 動物にみられる配偶行動について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 10 | 配偶システムの違いを子育ての観点から学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 11 | 利他的行動と包括適応度について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 12 | 連合学習と古典的条件付けについて学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 13 | オペラント条件付けについて学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 14 | 短期的記憶と長期的記憶について学習する。 | 講義 | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 15 | 動物の社会的学習について学習する。 | 講義<br>ディスカッション | 事前配信講義資料の予習<br>講義後課題の実施 | 4 |
| 試 | | | | |

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価

| 総合評価割合（%） | | 試験 | レポート | 成果発表 | ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | 100 |
| 総合力指標 | 知識・技術力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 |
| | 思考・推論・創造する力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 |
| | 協調性・リーダーシップ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 発表・表現伝達する力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 |
| | コミュニケーション力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 取組みの姿勢・意欲 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 |
| | 問題を発見・解決する力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 |

| 評価のポイント | | | | フィードバックの方法 |
|---|---|---|---|---|
| 評価方法 | 行動目標 | | 評価の実施方法と注意点 | |
| 試験 | ①〜⑥ | | | |
| レポート | ①〜⑥ | | | |
| 成果発表 | ①〜⑥ | | | |
| ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ | ①〜⑥ | | | |
| その他 | ①〜⑤ | ✔ | 毎回の授業後に行う事後課題 15 回分の合計点を 100 点に換算して評価する。なお、提出日時を過ぎてからの事後課題の提出は原則認めない。 | 課題については原則翌々回の授業までに解説を行うが、講義で説明できない回については Teams に解説資料を掲載する。 |
| | ⑥ | | | |

備考

| | |
|---|---|
| 他担当教員 | |
| 教員の実務経験 | • 薬剤師資格を持ち解剖生理学、生物系科目、PBL、基礎サイエンス実習（生物学）、環境学など基礎医学・生物学・環境学の教育経験が 30 年以上ある。<br>• 自治体における環境調査に約 10 年従事した。 |
| 実践的授業の内容 | • 講義中、グループに分かれてのディスカッションを実施し、講義内容の理解を深める。 |
| その他 | • 授業中に提示された質問は、能動的に実施すること。<br>• 指定した参考書以外にもインターネットや新聞などをみて、動物行動学に関する記事を意識して読むようにすること（これらの活動時間は事前事後学習時間に含まれる）。<br>• 本科目は対面授業として実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。また、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。授業形態が変更になる場合もあるので、大学からの連絡にしたがうこと。 |